



# なは市民協働大学だより

## 第4回号

発行月：令和元年9月  
 発行：那覇市まちづくり協働推進課  
 なは市民活動支援センター  
 〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1  
 なは市民協働プラザ 2階  
 TEL:098-861-5024 FAX:098-861-5029

はいたい！受講生のみなさま、こんにちは。第4回目の講座、おつかれさまでした。

お仕事や各種日程をこなした後、協働大学にお越しいただき、ありがとうございます。街の中が込んでいたのでしょうか。開始時には空いている席がありましたが、徐々に席は埋まっていき、いつものように勉強になる事をたくさん聴き、意見交換をし、楽しいひと時を過ごすことができました。

沖縄国際大学3年生の5名の学生さんが、8月19日より、なは市民活動支援センターにてインターンシップを2週間ほど行い、せっかくのチャンスなので、協働大学と一緒に設営&受講してもらいました。インターンシップ生からは様々な立場の方、世代を超えた受講生と一緒にワークショップを行えた事で、受講生のまちづくりへの関心の高さを知り驚き、話し合えて良かった、楽しかったと実習報告を受けております。受講生の皆さま、ご協力ありがとうございました。



第4回は、若狭公民館（公民館委託先:NPO 法人地域サポートセンターわかさ）館長 宮城 潤さん、防災危機管理課 主査 真栄里 憲一さんをお迎えしての講座でした。宮城館長からは、様々な工夫を凝らした取組みについて笑いを交えてお話され、真栄里主査からは那覇市の防災の課題などお話されていました。

また質疑応答の中では、実際に阪神大震災を経験し、ボランティアをされた方からの貴重なお話も戴くことができ、皆さん静かに、一つ一つの内容に聴き入っていました。ありがとうございました。

## ●第4回講座の振り返り

◎令和元年8月20日(火)

19:00-21:00

なは市民協働プラザ 2階

会議室①

◎受講者：26名（全45名中）

聴講生：11名



宮城館長



真栄里主査

★若狭公民館（宮城館長）

防災を取組むきっかけは、2011.3.11「東日本大震災発生」であり、那覇市防災マップ（講座配付資料あり）を見ると、浸水地域になりやすいと地域からどうしたらいいか不安と声が聞こえてきたからです。

### 公民館での防災に関する各種取組み

◎防災基礎講座：自主防災組織のつくり方等。

◎図上訓練：防災危機管理課、消防団、社会福祉協議会、地域包括支援センター、自治会等の各関係機関と連携して、沖縄県が想定している地震・津波被害状況にあわせて、受入れ先として新都心地区へ避難する訓練を行った。

◎防災紙芝居：沖縄には地震が来ないと誤解されているが、伝承されてきた沖縄での地震や津波のことを紙芝居で分かりやすく伝える。

◎リッカ！ヤールキャラバン！：阪神淡路大震災から10年経った2005年に神戸市被災者187名に教訓や知恵のインタビューを取り、冊子を作成。それを元につくった子ども達も楽しみながら学べる防災プログラム「イザ！カエルキャラバン」の沖縄版。

◎やさしい日本語・防災かるた編：最近増えている留学生等の外国人と一緒に避難することを想定して、

## プログラム

[あなたの地域は安全ですか？

そして楽しく防災を！]

1. 若狭公民館の防災について
2. 那覇市の防災危機管理課の業務内容。防災対策等の現状や取組みについて
3. グループによる質問づくりワーク
  - ・講話の感想等をグループで共有
  - ・講師への質問をグループで発表
4. 各グループの質問に対して二者応答
5. 本日の振り返り
6. 事務局からのお知らせ

若狭公民館の  
 受講生にあわせて  
 内容づくりにご注目！

日本人も外国人も優しい日本語を使い慣れる、防災意識を高める。

◎防災キャンプ：楽しみながらキャンプのノウハウを得つつ、お互いに助け合う意識の芽生え。(トリアル企画) ペット同伴世帯、経済的に厳しい世帯、夜間保育所、ひとり親世帯など、イザという時に多くの助けが必要な方々を想定して取り組んでいる。

避難するときには、お互いに助け合うことが大切。那覇では自治会加入率が低いので、地域コミュニティの再構築として、同じ趣味を持つ仲間やママ友など、その地域の更に小さいコミュニティを活用して新しいつながりを作っていくのも「アリ！」という視点で取り組んでも良いのではないかと、また災害時には、まずは自分で助かる力を付ける「自助」が重要ではないかと。那覇の実態に合った新しい防災のカタチを発明することが必要と思っている、とのお話がありました。

#### ★危機防災管理課 (真栄里主査)

##### 業務内容

- ◎災害危機管理：災害対応、災害対策本部事務局、ミサイル発射・テロ事案等時の国民保護対策。
- ◎情報発信：那覇市防災気象情報メール(講座配布資料に登録方法の案内を添付)は、登録無料であり、24時間瞬時にメールにて情報を受け取ることができる。
- ◎各種訓練：那覇市民も一緒に参加できる総合防災訓練は、今年は10月26日(土)10:00からに県庁前県民広場およびパレット前広場、なは市民協働プラザにて行われる。
- ◎避難所の整備：那覇市防災マップ(講座配付資料あり)に危険箇所や避難場所を掲載して配布。
- ◎応急復旧：物資の提供、緊急時や物資等の搬送など、各種民間企業と災害応援協定を結んでいる。
- ◎防災啓発：防災講話や訓練(若狭公民館と協働の取組みも含む)、自主防災組織の結成促進等

那覇市の課題として、地域防災力の更なる向上、観光客や外国人に係る危機管理対策の充実・強化などがある。「行政」、「企業・NPO」、「ボランティア・市民等」の三者が上手く連携し協働して被災者支援を円滑に進められるような体制を構築したい、とのお話がありました。

##### 質疑応答より

☆沖縄の人が一番気をつけないといけないものは、身近に起きる台風や洪水。30年以内に沖縄でも震度7規模の地震が起きると国が予想しているのでその対策が必要。

☆聴講生で参加していた有村博勝さんは、大阪出張中に阪神・淡路大震災を経験し、その後ボランティア活動を行いました。日本で初めての大地震のため、被災自治体が上手く機能できなかった。まずは自助が大事で、そこから自然に生まれる共助が大切であるとお話しされていました。



有村さん

令和元年8月10日に若狭公民館で行われた「防災キャンプ」の様子や、災害による被害を少なくするための対策について記事が、令和元年9月1日の沖縄タイムスワラビー8ページに掲載されています。是非こちらもご覧ください。

#### ★事務局よりお知らせ2点★

①第5回～最終回の講座では、最終発表に向けて、各グループ構成員を変えずに固定したグループ編成をしたいと思います。第5回までを含めた各回のテーマからグループで一つ決めていただき、そのテーマについて「私たちグループができるもしくは考える協働によるまちづくりとは」を考えていただきたいと思います。そのため、その準備として各回内容の復習をお勧めします。

②第6回の繁多川まちまーいでは、在来大豆オーヒグーパン&繁多川ゆし豆腐の軽食Box(1,000円)でご提供します。まちまーいの参加の有無、軽食希望の有無を次回第5回で確認したいと思います。宜しくお願いします。

第6回：10月12日(土)10:00～13:00 繁多川公民館にて  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

#### 次回(第5回)講座ご案内

日時：令和元年10月1日(火)  
19:00～21:00

場所：なは市民協働プラザ2階  
会議室①

テーマ：繁多川のまちづくり

講師：繁多川公民館長 南 信乃介さん  
(NPO 法人一万人井戸端会議)



時折やってくる台風@

どちら様も被害が出ませんように  
By.事務局